

第103回 二科展 巡回展（大阪展）



▲ 大阪市立美術館

■ 大阪巡回展は10月30日より11月11日まで、天王寺にある大阪市立美術館で開催しました。出品点数は660点。その内訳は、絵画 216点、彫刻 13点、デザイン 204点、写真 227点となります。

■ 搬入は昨年よりはスムーズに行われましたが、ギリギリまで時間がかかる焦った展示となりました。依頼陳列業者に対する課題は、まだまだあるように思います。本年度は天候にも恵まれ、盛況のうちに終了することができました。来場者数は16004人。昨年度に比べ総入場者数は落ち込む形になりましたが、有料入場者率は伸びており、地域からの関心は高まりつつあるように思います。

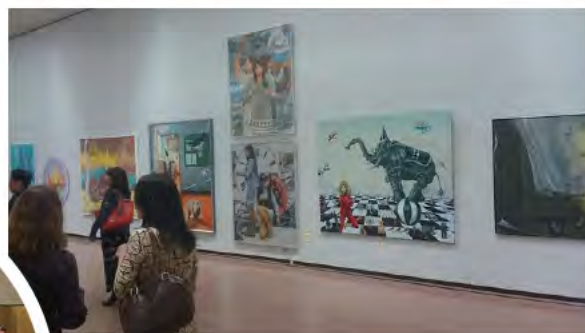
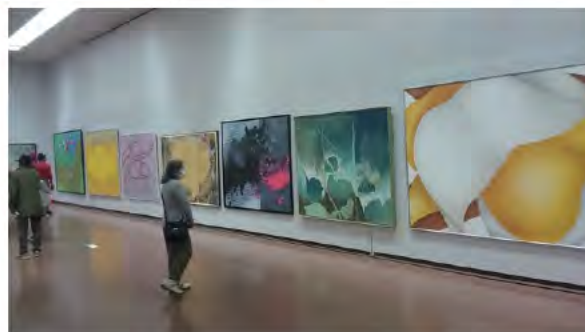
■ 会期中、文化の日のロビーコンサートや、絵画部では二科出品希望者のための「ワンポイントアドバイス」を例年通り開催。「第67回子供二科展」や、デザイン部主催の「第16回全国ポストカード大賞展」などの併催展示によって、多くの来場者で賑わう展覧会となり、浪速の秋の文化イベントとして大いに盛り上がりました。

■ 大阪展の絵画部では、本年度も全ての全国巡回作品、並びに全国巡回にならない関西支部会員、京滋支部会員の大作を展示しております。会期中、遠方より様々な会員の先生方にもお越しいただきました。

■ 多くの展覧会がそうであるように、大阪展も来場者に占める高齢者の割合が多く、そのことを悲観視する意見もあります。しかしながら昨今、時間に余裕のあるエネルギー豊かな年輩層が急増しており、そうした方々の新しい感性は二科の受賞作品にも数多く見受けられます。人生の経験を経た、心豊かな人々にとっての刺激や情報の場としての二科の姿も模索していかなければならないと感じております。

(絵画部会員 高畑彰)

▼ 絵画部展示会場 ▼



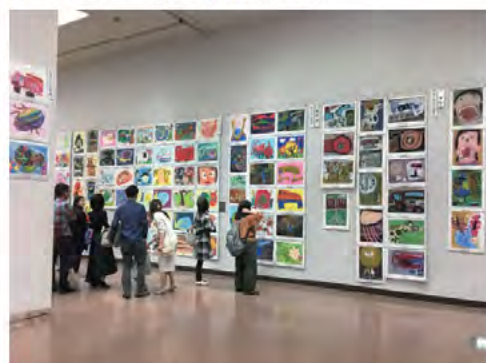
懇親会風景
絵画部受賞者と初入選者 ▶



出品希望者のための
▼ ワンポイントアドバイス風景



巡回展と同時開催された
▼ こども二科展示会場風景



会期中に開催された
ミニ・コンサート風景 ▶

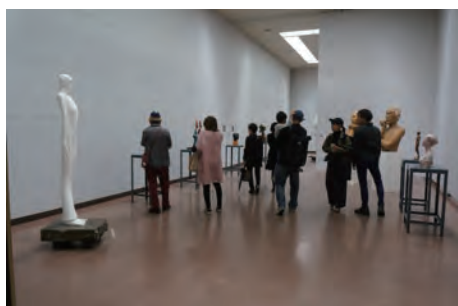
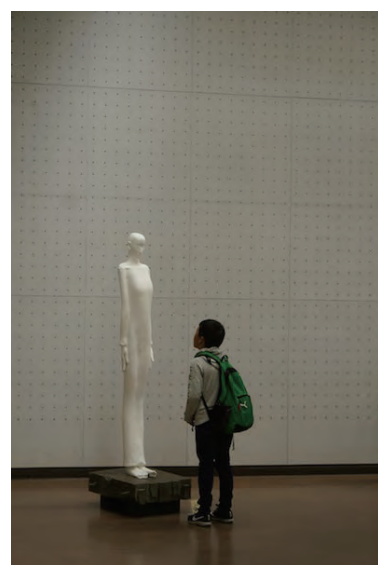


■ 彫刻部は出品点数13点（会員10点、会友3点）

大阪展（大阪市立美術館地下展示室）彫刻部会場は、パーテーションを挟み3室に分かれています。展示点数は13点と少ないですが、大阪展関係者の作品と全国巡回展用に制作された会員の作品をバランス良く展示しました。高い天井高とあいまって、ここ数年来1点1点のスペースをゆったり取れた展示で、彫刻鑑賞の条件としては理想的な環境と言えると思います。そのせいか、来場された方々も、作品をじっくりと鑑賞して頂いているように感じます。大阪展では独自併催される「こども二科展」のお陰で、こども連れの鑑賞者も多く、作品を前にした親子の語りも微笑ましい光景です。昨年に引き続き、一般応募者0という寂しい事態を何とかしなければならないのですが、そんな中、今年度は会友の本多紀朗君が新会員に推挙され、より一層の活躍が期待されるところです。

（彫刻部会員 橋本和明）

▼ 彫刻部展示会場 ▼



■ デザイン部は、●A部門＝自由テーマ・ポスター（B1）●B部門＝特別テーマポスター／総務省・外務省による「持続可能な開発のためのICT」（B1）●C部門＝自由テーマ・イラスト（B2）●D部門＝小型グラフィック（B2）の4部門で構成されています。昨年までB部門がイラストでC部門は特別テーマでしたが、今回より審査手順や展示効果等々を考慮して見直しをしました。また、D部門はマルチグラフィック部門から小型グラフィックに、少しでも多く応募していただけるよう募集内容を変更しました。B部門の特別テーマポスターについては、デザイン部としての在り方を機会があれば誌面等を通してお伝えするようにしております。この部門は云わんとするメッセージを、見る側に如何に具体的に、見やすく、分かりやすく訴求出来るポスターかどうかが問われる部門です。ポスターとしての機能が十分に発揮出来るデザイン力が必要になります。なかなか難しい部門ですが、今後とも優秀な作品が出品されることを切望しています。

大阪展の展示数は全国巡回作品153点（一般79点、会友28点、会員46点）と、関西地区出品作品51点（一般32点、会友10点、会員9点）の計204点を展示しました。

また、第16回を迎える全国ポストカードデザイン大賞で、小学生部門は3年目を迎え、デザイン部会場で展示しました。小学生・学生（中高生）・一般合わせて2,448点の応募があり、311点が入選しました。出品数は昨年より微増ですが、一般が若干減少しました。しかし小学生部門が毎年右肩上がりを示し次回も更なる期待をしています。展示会場ではこの小さなサイズのポストカードに家族連れで足を運んでいただき、二科展を知っていただく一助になれば…と考えています。

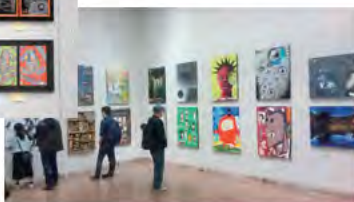
二科大阪展の最終日には、ポストカードデザイン大賞の表彰式を小学生の1部、2部・学生の部・一般の部の四回に分けて行い、今回より式典出席入選者全員の作品を入選状・賞状手渡し時に拡大映写して、ムードの盛り上げをはかりました。各表彰式終了後は、展示会場にてデザイン部会員がワンポイントアドバイスをを行い、多くの参加者で会場は熱気に溢れ好評を博しました。

（二科会デザイン部関西地区事務局 田野 勝）

▼ デザイン部展示会場 ▼



▼ デザイン部会場風景 ▶



盛況の全国ポストカードデザイン大賞
展示風景 ▲

■ 写真部は今年227点の作品を展示しました。

全国から応募された14,499点の中から選ばれた入賞作品を57数点と、関西地区の大阪、兵庫、奈良、和歌山の入選作品54点、関西地区2府4県の会員会友作品と全国会員の中から選出した作品等で構成しています。

今年から「アートフォト部門」を新設し、画像処理技術を駆使した新しい写真表現の可能性を探求するなど、多種多様なモチーフをハイレベルに表現した内容になったと自負しています。

また、会期中の水曜日に2回ギャラリートークを行いました。

今年は開催期間中、天候にも恵まれ多数の来館者がありました事、感謝申し上げます。来年は更に充実した内容になるよう写真部一同精進する所存です。

(写真部大阪支部 会員 松井秀雄)

▼ 写真部展示会場 ▼



好評のギャラリートーク風景 ▶